

製品名: p53 (アセチル K382) (17F2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe15643**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	
別名	Antigen NY-CO-13, Cellular tumor antigen p53, Phosphoprotein p53, TP53, Tumor suppressor p53
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P04637
免疫原	ヒト p53 の Lys9 周囲の残基に対応する合成アセチルペプチド

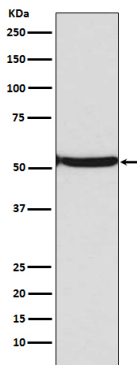
背景

多くの腫瘍種において腫瘍抑制因子として作用し、生理学的状況および細胞種に応じて増殖停止またはアポトーシスを誘導する。細胞周期制御において、細胞分裂に必要な一連の遺伝子群を制御することで細胞分裂を負に制御するトランスアクチベーターとして関与する。活性化される遺伝子の一つはサイクリン依存性キナーゼの阻害因子である。アポトーシス誘導は、BAX 抗原および FAS 抗原の発現刺激、または Bcl-2 発現の抑制によって媒介されると考えられる。

研究分野

細胞生物学

画像データ



エトプシドと TSA で処理した Jurkat 細胞溶解物における p53 (アセチル K382) 発現のウェスタンブロット分析。